



資料

# 令和6年度県民歯科保健実態調査 事前説明会

健康増進課 健康づくりグループ

令和6年5月24日 15:00～15:30／15:30～16:00

令和6年5月27日 15:00～15:30／15:30～16:00

Zoom開催に当たってのお願い

- 名前に所属名を入れていただき、回線負荷を減らすためビデオはオフ、マイクはミュートでお願いします。
- 質疑応答については説明終了後5～10分程度の時間を設ける予定です。  
質問がある場合は、説明の途中でも構いませんので、Zoomのチャットから事務局あてに質問事項を記載してください。  
最後にまとめて事務局より順次回答いたします。 時間を超過する場合は、後日メール等で個別に回答いたします。

## 本日の内容

- 1 令和6年度県民歯科保健実態調査（幼児、児童・生徒）について
- 2 令和2年度県民歯科保健実態調査（幼児、児童・生徒）の結果について

### Zoom開催に当たってのお願い

- 名前に所属名を入れていただき、回線負荷を減らすためビデオはオフ、マイクはミュートでお願いします。
- 質疑応答については説明終了後5～10分程度の時間を設ける予定です。  
質問がある場合は、説明の途中でも構いませんので、Zoomのチャットから事務局あてに質問事項を記載してください。  
最後にまとめて事務局より順次回答いたします。 時間を超過する場合は、後日メール等で個別に回答いたします。

# 1 令和6年度県民歯科保健実態調査（幼児、児童・生徒）について

# 令和6年度県民歯科保健実態調査について

(幼児、児童・生徒)

目的：神奈川県における幼児及び児童・生徒の歯科保健の実態を把握し、歯科保健対策の推進に必要な基礎資料を得ると共に、神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進計画等各種県計画の評価としての活用を図り、県民の健康増進の推進に役立てる。（4年に1回実施）

対象：約34,000人

ア 神奈川県内の市町村が実施する3歳児歯科健康診査対象児

**イ 神奈川県内の幼稚園等に在籍する5歳児、公立学校に在籍する小4、中1及び高1**

実施時期：ア 7～10月のうち、各市町村が指定する1ヵ月

**イ 6月15日から7月20日**

実施体制：調査票の配布・回収、入力、分析等については、**神奈川県歯科大学**に委託

調査内容：**属性**

**歯科保健行動**

**むし歯の状況**

# 令和6年度県民歯科保健実態調査について

(幼児、児童・生徒)

## ○調査内容

### ・属性

性別、出生順位、住所地域等

### ・歯科保健行動

食生活、歯みがき、歯間清掃、フッ化物の利用状況、口腔内観察状況、歯科受診状況等

### ・むし歯の状況

むし歯の有無、むし歯の本数等

## ○設問数

18～19問

## ○回答所要時間

10分以内

Kanagawa Prefectural Government

(例) 調査票 (小4)

A3両面印刷 2つ折

(表面)

保護者の皆様へ  
**県民歯科保健実態調査 調査ご協力をお願いいたします**  
令和6年度  
 神奈川県健康増進局保健医療部健康推進課

県民の皆様には日頃、神奈川県の実践行動にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。  
 この調査は、皆様から、お子様の歯やお口の健康についてお聞かせいただき、今後の歯の歯科保健施策を検討する上で貴重な資料とさせていただきますために実施するものです。  
 調査実施にあたりましては、統計法に基づき文部科学省が実施する「令和6年度学校保健統計調査」の対象になった公立小学校に在籍するお子様へ調査のご協力をお願いする次第です。  
 この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をいただけますようお願いいたします。

- この調査は、小学4年生を対象に、保護者の方にご記入いただく調査です。
- ご記入の際は、裏色の粘着やホールペーパーをお願いします。
- 調査用紙や封筒に名前を書く必要はありません。
- ご記入いただきました調査票は、学校が指定した日までに指定の封筒に入れて提出してください。

ご質問につきましては、答えられる範囲でご返答ください。  
 なお、ご回答いただいた調査票は統計的に処理しますので、統計以外の目的には使用いたしません。  
 あなたのお子様個人に関する回答が外部に漏出して連絡をおかけすることやあなたのお子様に不利益が生じることはございません。  
 また、調査結果は令和7年6月に公表する予定です。  
 ご不明な点などがございましたら、下記までお問い合わせください。

問い合わせ先  
 神奈川県健康増進局保健医療部健康推進課  
 〒251-8588 横浜市中区日本大通1  
 電話 045-210-4773  
 URL <http://www.pref.kanagawa.jp/div/199/>  
※印刷時の色・厚み・サイズでもお断り・お気を付けください。

(裏面)

県民歯科保健実態調査 (小学4年生)

●質問は、この部分に記入し、またはあてはまる項目の番号に○をつけてください。

問1 お住まいの市町村名を教えてください。  
市・町・村

問2 お子様の性別を教えてください。  
 (1) 男 (2) 女

問3 お子様の出生順位をご記入ください。  
第 手 (子供は全員で 人)

問4 お子様は、甘い菓子(チョコレート、アイスクリーム、アイス、スナック菓子など)を食べますか。  
毎日食べる (2) ときどき食べる (3) ほとんど食べない  
 問4-1 1日あたり (1) 1~2回 (2) 3回以上

問5 お子様は、甘い飲み物(乳飲料、ジュース、スポーツドリンクなど)を飲みますか。  
毎日飲む (2) ときどき飲む (3) ほとんど飲まない  
 問5-1 1日あたり (1) 1~2回 (2) 3回以上

問6 お子様の歯をみがく頻度を教えてください。  
毎日みがく (2) ときどきみがく (3) みがかない  
 問6-1 1日あたりの回数 (1) 1回 (2) 2回 (3) 3回以上

問7 お子様は歯みがき指導を受けたことがありますか。  
 (1) ある (2) ない

問8 お子様は、歯磨き粉(歯磨き剤)をかけて歯みがきをしていますか。  
時間をかけてみがくことが多い (2) あまり時間をかけない/みがくことが多い

問9 お子様は、フッ化物入り(歯磨き粉)を使っていますか。  
ほぼ毎日使う (2) ときどき使う (3) 使わない

問10 お子様は、歯や口のの様子を観察する習慣がありますか。  
毎日している (2) 月に1回以上している (3) 月に1回程度している (4) ほとんどない/わからない

問11 お子様は歯をみがく時、フッ化物(フッ素)入りの歯みがき粉を使っていますか。  
毎日使う (2) ときどき使う (3) 使わない (4) フッ化物が入っているかわからない

問12 お子様は、フッ化物(フッ素)入りの歯磨き粉を使ったことがよくある/聞いたことはありますか。  
 (1) ある (2) ない (3) フッ化物が入っているかわからない

問13 お子様は、歯科医院や市町村の歯科検診などでフッ化物(フッ素)塗布を受けたことがありますか。  
 (1) ある (2) ない (3) わからない

問14 お子様は、歯科医院で検診を受けたことがありますか。  
ある (2) ない  
 問14-1 あると答えた方 (この1年間)、お子様が歯科医院で検診を受けたものすべてに○をつけてください。  
 (1) この1年間で、歯科医院で検診を受けていない  
 (2) 歯科検診 (3) 歯みがき指導 (4) フッ化物塗布指導  
 (5) フッ化物入りの歯磨き粉 (6) フッ化物入り歯磨き粉 (7) 歯のむし歯の指導  
 (8) 歯や口のむし歯の指導 (9) 歯科検診  
 (10) その他 ( )

問15 お子様は、かかりつけの歯科医院を決めていますか。  
決めていない (2) 決めている  
 問15-1 かかりつけの歯科医院から定期検診の受診のすすめ(口内での説明、ハガキ、電子メールなど)がありますか。  
 (1) ある (2) ない

問16 お子様は、口を大きく開けたり閉じたりする時、口の中の前歯に痛みを感じたり、閉じにくかったり、響くことがありますか。  
ある (2) ときどきある (3) ない  
 問16-1 あると答えるものすべてに○をつけてください。  
 (1) 痛みがある (2) 閉じにくい (3) 音がする

問17 お子様は、歯科検診や歯科治療に恐怖感や不安感がありますか。  
 (1) 大いに (2) やや (3) ほとんど (4) まったくない

問18 お子様は、むし歯(虫歯)の歯をむし歯(虫歯)の本数を教えてください。  
1~2本 (2) 3~5本 (3) 6本以上 (4) 本数わからない

問19 お子様から見て、歯磨きされた保護者の様子は、歯磨きされたことがありますか。  
 (1) 父 (2) 母 (3) 祖父 (4) 祖母 (5) その他

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

# 令和6年度県民歯科保健実態調査について

(幼児、児童・生徒)

## ○ご協力いただきたいこと

- レターパックの受け取りと内容確認
    - ✓ 送付文
    - ✓ 調査票（事前照会で回答された調査対象数＋予備）
    - ✓ 実施要領
    - ✓ 調査の流れ
    - ✓ 返信用レターパック
  - 対象者への調査票の配布
  - 調査票の回収
  - 返信用レターパックに調査票の回収数を記載の上、調査票を封入し返送
- ※対象者からの調査内容に関する質問があった場合は、調査票表面の問合せ先をご案内ください。

## 返信用レターパック(イメージ)

The image shows a return letter pack form with the following sections:

- お届け先 (To):** Includes fields for Address, Name, and Telephone Number. The name field ends with "様".
- ご依頼主 (From):** Includes fields for Address, Name, and Telephone Number. The name field ends with "様".
- 品名: Contents Description:** A section for describing the contents. Below this, there is a red box with the text: "神奈川県「県民歯科保健実態調査」調査票在中 ○○枚".

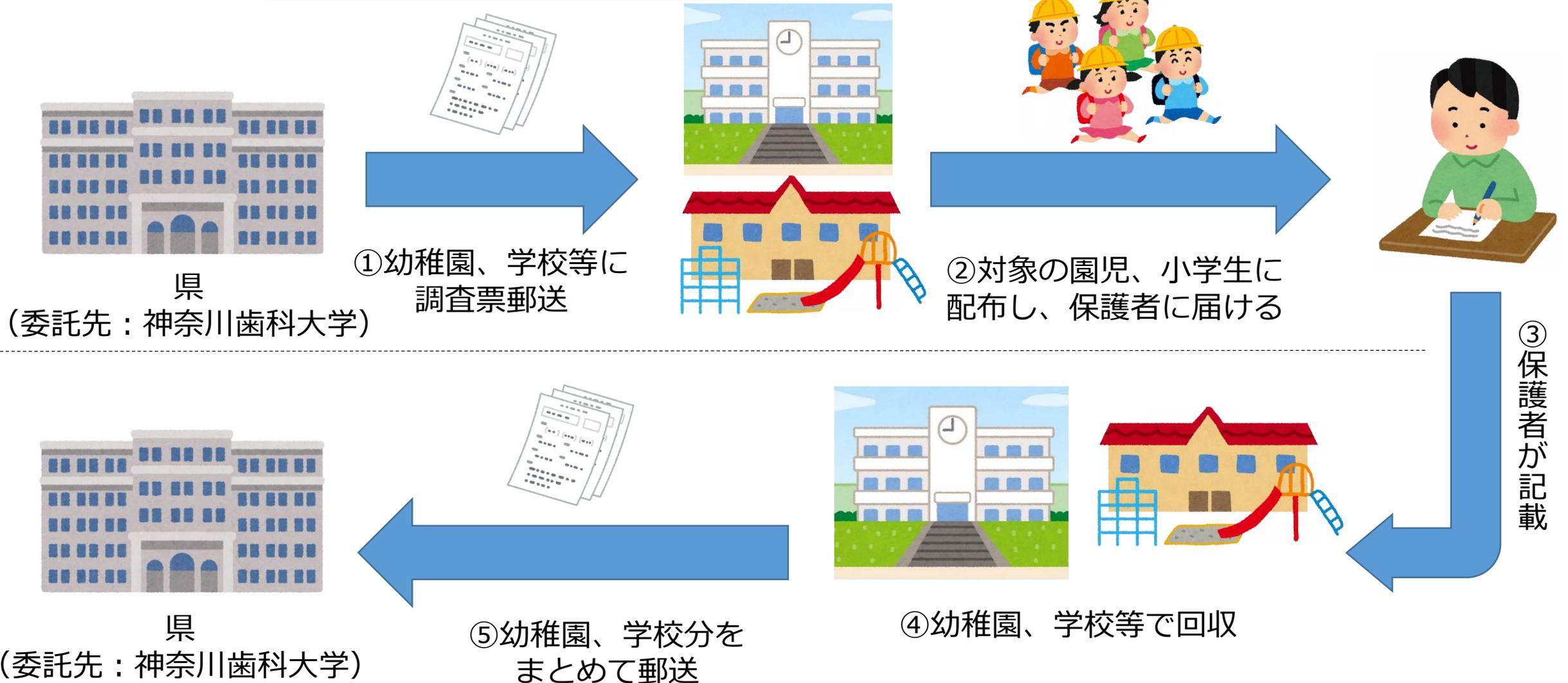
At the top of the form, there are several "レターパックライト" (Letter Pack Light) logos. To the right of the form, there are several empty boxes for postal codes.

返信用レターパックの品名欄に調査票在中のラベルの脇に回収した調査票の枚数を記載してください。

# 令和6年度県民歯科保健実態調査（幼児、児童・生徒）の実施の流れ

（園児、小学生）

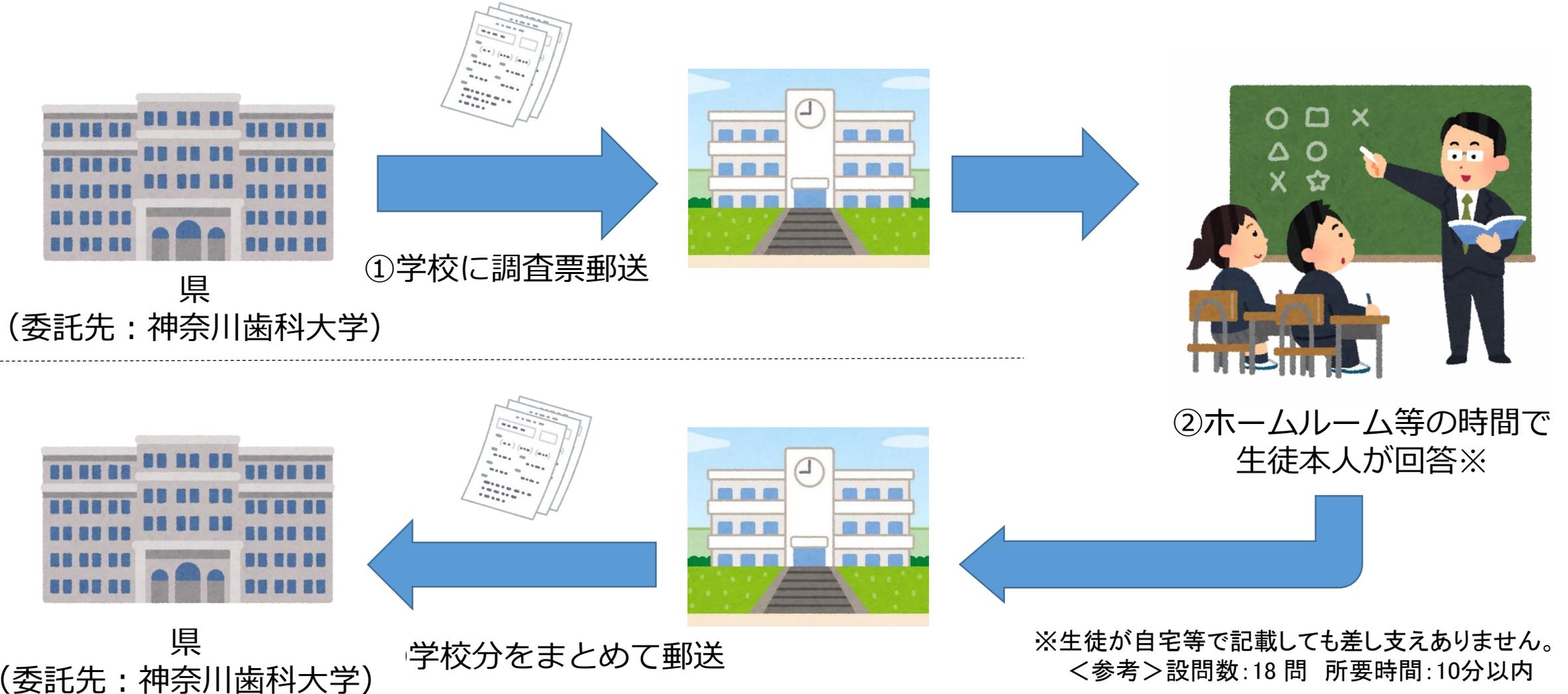
→調査対象者：5歳児及び小学4年生の保護者



# 令和6年度県民歯科保健実態調査（幼児、児童・生徒）の実施の流れ

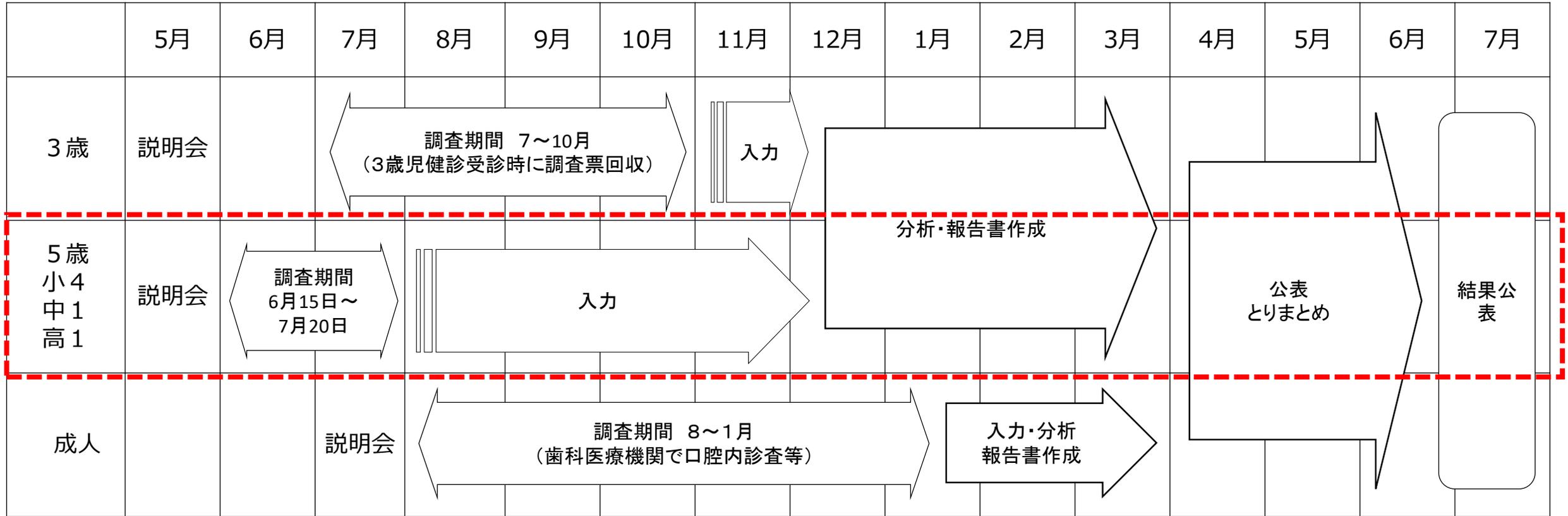
（中学生、高校生）

→調査対象者：中学1年生及び高校1年生本人



# 令和6年度 県民歯科保健実態調査 スケジュール

- 県民歯科保健実態調査は、幼児、児童・生徒を対象とした調査のほか、成人を対象とした調査も行っています。
- 県民歯科保健実態調査の結果は令和7年度7月頃の公表を予定しています。



Q この調査はどのような位置づけで行っていますか？

A 本調査は統計法第24条に基づき、総務大臣にあらかじめ届出の上、神奈川県が実施する「公的統計」です。

本県における歯科保健対策の推進のために、重要な基礎資料となりますので、ご理解ご協力をお願いします。

Q この調査の実施はどこかで公表していますか？

A 本調査は神奈川県統計調査条例の第3条第2項に基づき、調査の実施について県公報での告示を行っています。今年度調査は6月上旬に県公報に登載予定です。

このほか、過去の調査結果等は県ホームページで公表しています。

Q 調査対象校はどのように決めているのですか？

A 文部科学省「学校保健統計調査」対象校に協力を依頼しています。

今年度調査では、直近で利用可能な令和4年度の調査対象校リストを使用しています。

Q この調査の協力について学校等はなにをすればよいのか。学校で調査結果の集計などを行うのか？

A 5歳児、小学4年生は保護者が回答し、中学1年生及び高校1年生は本人が回答することとしています。

学校等では調査票の配布と回収及び返送（レターパック）の協力をお願いします。

調査結果の集計等を行っていただくことはありませんが、散逸防止のため、レターパックの品目欄に「回収した調査票の枚数」の記載に協力をお願いします。

Q 調査票は必ず回収しなければなりませんか？

A 本県における歯科保健対策の推進のために、重要な基礎資料となりますので、一人でも多くの方にご回答いただきたいとは考えておりますが、「必ず」回収することまでは求めておりません。適宜、お声掛けをお願いします。

Q 調査票は何枚配布されますか？

A 事前調査でご回答いただいた調査票数＋予備として5～10枚程度配布します。

Q 外国にルーツを持つ子どもについてはどのように対応すればよいか？

A 日本語以外で表記された調査票は用意しておりませんが、外国にルーツを持つ子ども及びその保護者にも対応するため、調査票にはふりがなを振っています。

本県における歯科保健対策の推進のために、重要な基礎資料となりますので、一人でも多くの方にご回答いただきたいとは考えており、回答できる範囲で回答し提出いただくよう促していただくと幸いです。

Q 調査票の返送にかかる費用は負担はどうか？

A 調査票配布時に、返送用のレターパックを同封します。

そちらを活用し、返送の対応をお願いします。

## 2 令和2年度県民歯科保健実態調査（幼児、児童・生徒）の結果について

# 令和2年度県民歯科保健実態調査の結果概要

## (生活習慣の状況)

○甘いお菓子を毎日摂取する者の割合は年齢別で5歳児が最も高く、甘い飲み物を毎日摂取する者の割合は、すべての年齢で、約4分の1が毎日摂取する傾向にありました。

※甘いお菓子：アメ、チョコ、ガム、アイス、スナック菓子など

※甘い飲み物：乳酸菌飲料、ジュース、スポーツドリンクなど

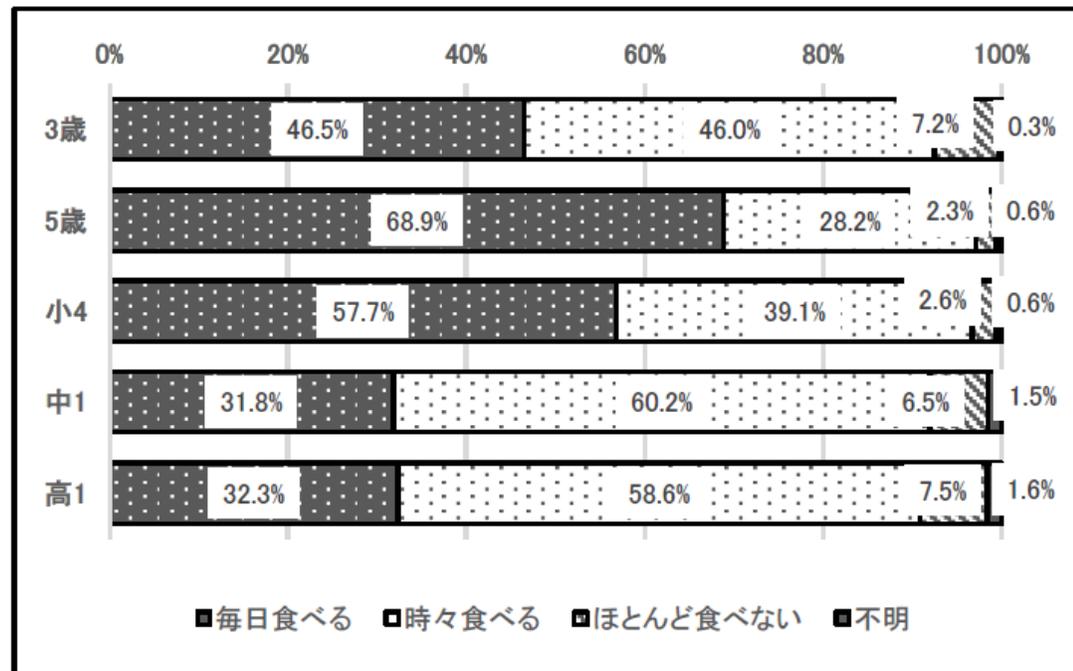


図1 甘い物を食べる頻度

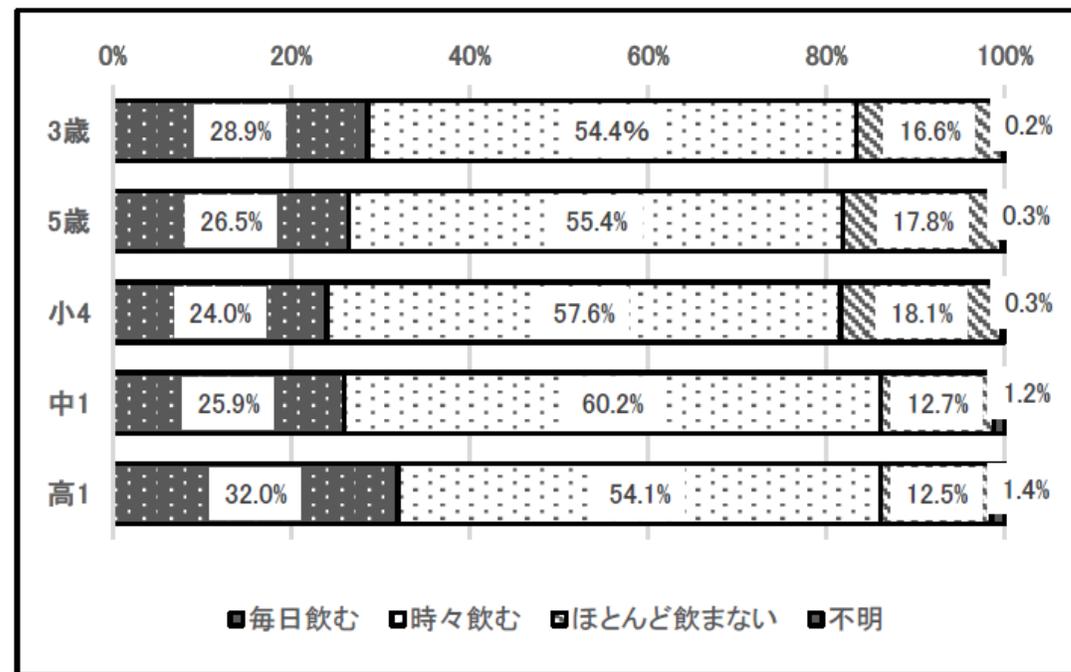


図2 甘い物を飲む頻度

# 令和2年度県民歯科保健実態調査の結果概要

## (生活習慣の状況)

- 毎日歯をみがく者の割合は92.3～97.0%で、1日あたりの回数は、2回が最も多くを占めています。
- フッ化物（フッ素）入り歯みがき剤を毎日使用する者の割合は、5歳児が最も高く74.7%でした。

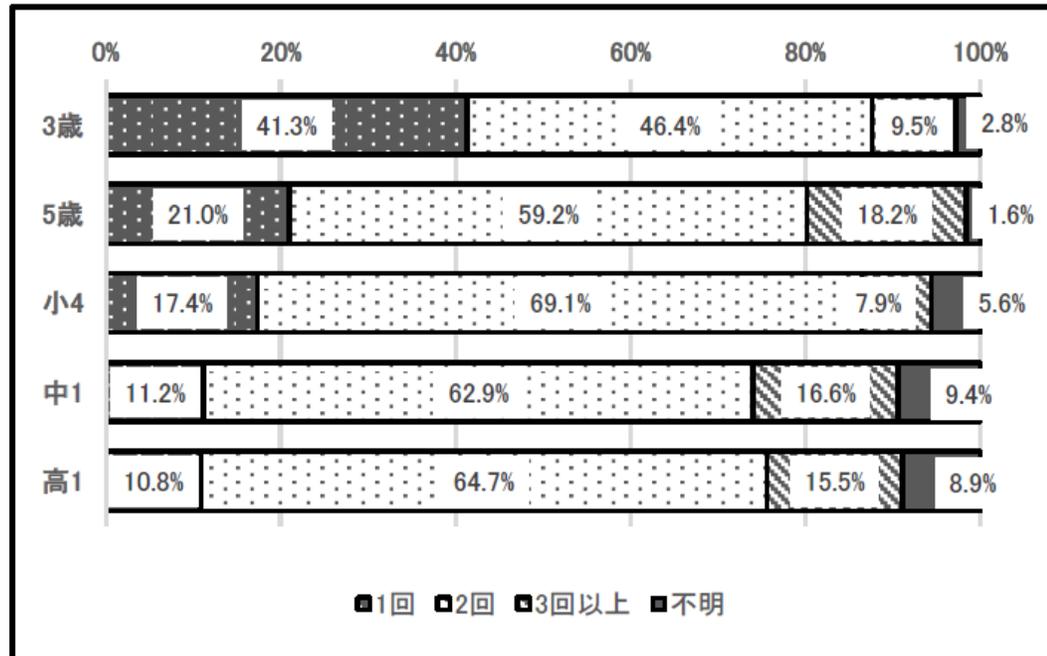


図3 毎日歯をみがく者の1日の歯みがき回数

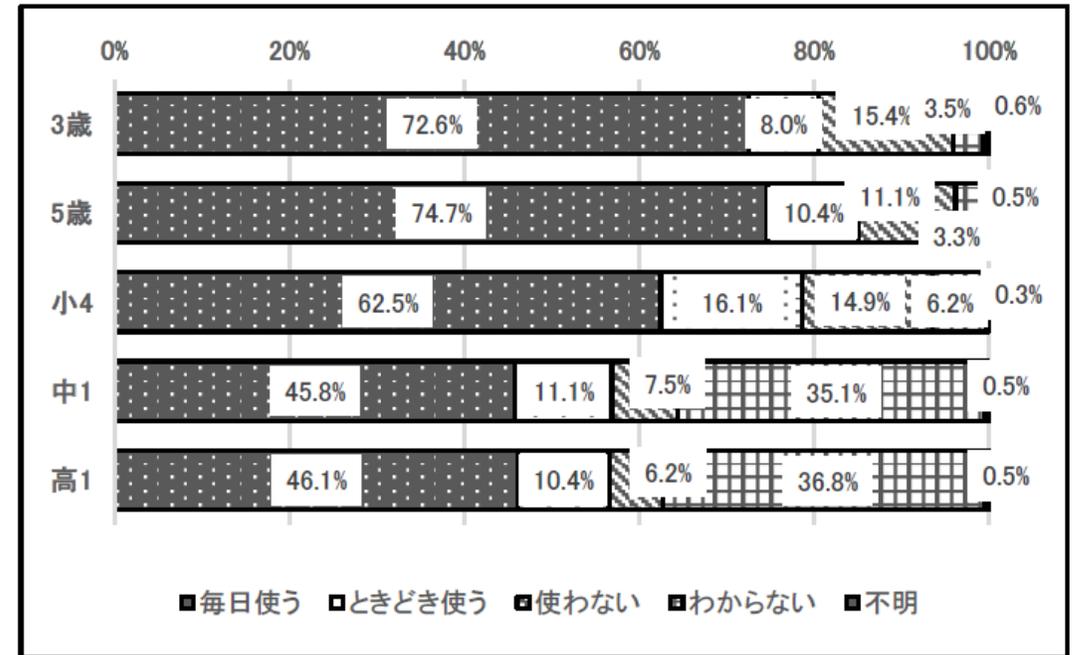


図4 フッ化物（フッ素）入り歯みがき剤の使用頻度

# 令和2年度県民歯科保健実態調査の結果概要

(生活習慣とむし歯の有無の関係)

○甘いお菓子や甘い飲み物を毎日摂取する者は、有意にむし歯ありの者の割合が高くなっています。

表3-4 食事習慣との関係 (5歳児)

質問項目	回答		むし歯の有無		有意性
			あり	なし	
食事時のテレビ又は携帯電話などの映像を見る習慣	ある	人数	692	1,195	<0.001
		%	36.7	63.3	
	つけるがあまり見ていない	人数	109	184	
		%	37.2	62.8	
	ほとんど見ない	人数	322	1,087	
		%	22.9	77.1	
甘いお菓子の摂取頻度	毎日食べる	人数	851	1,639	<0.001
		%	34.2	65.8	
	時々食べる	人数	266	745	
		%	26.3	73.7	
	ほとんど食べない	人数	13	73	
		%	15.1	84.9	
甘い飲み物の摂取頻度	毎日飲む	人数	345	609	<0.001
		%	36.2	63.8	
	時々飲む	人数	621	1,377	
		%	31.1	68.9	
	ほとんど飲まない	人数	164	483	
		%	25.3	74.7	

# 令和2年度県民歯科保健実態調査の結果概要

(生活習慣とむし歯の有無の関係)

○歯みがき習慣では「毎日みがく」者、1日「3回以上」みがく者、フッ化物（フッ素）入り歯みがき剤を「毎日使う」者など、良好な習慣を持つ者ほどむし歯のある者の割合が低くなっています。

表3-9 食事習慣・歯磨き習慣など保健行動との関係（中学1年生）

質問項目	回答		むし歯の有無		有意性
			あり	なし	
歯みがきの頻度	毎日みがく	人数	3,149	2,973	<0.001
		%	51.4	48.6	
	時々みがく	人数	126	66	
		%	65.6	34.4	
	ほとんどみがかない	人数	15	10	
		%	60.0	40.0	
	みがかない	人数	0	3	
		%	0.0	100.0	
毎日みがく者の1日の歯みがき回数	1回	人数	390	270	<0.001
		%	59.1	40.9	
	2回	人数	2,026	1,867	
		%	52.0	48.0	
	3回以上	人数	447	582	
		%	43.4	56.6	
歯みがきの時間	時間をかけてみがくことが多い	人数	1,980	1,953	0.003
		%	50.3	49.7	
	あまり時間をかけないでみがくことが多い	人数	1,390	1,191	
		%	53.9	46.1	
フッ化物（フッ素）入り歯みがき剤の使用	毎日使う	人数	1,514	1,578	<0.001
		%	49.0	51.0	
	ときどき使う	人数	390	331	
		%	54.1	45.9	
	使わない	人数	272	205	
		%	57.0	43.0	
	わからない	人数	1,180	1,030	
		%	53.4	46.6	

# 神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進計画（第2次）指標について（参考）

目標	指標	現状値	目標値（R14）	データソース
第1.	歯及び口腔に関する健康格差の縮小			
	3歳児で4本以上のむし歯を有する者の割合	2.3%（R3）	0%	地域保健健康増進事業報告
	12歳児でむし歯のない者の割合が90%以上の市町村数	3市町村（R4参考値）	20市町村	神奈川県定期歯科検診結果に関する調査
第2.	歯及び口腔疾患対策			
	むし歯対策			
	3歳児で4本以上のむし歯を有する者の割合（再掲）	2.3%（R3）	0%	地域保健健康増進事業報告
	12歳児でむし歯のない者の割合が90%以上の市町村数（再掲）	3市町村（R4参考値）	20市町村	神奈川県定期歯科検診結果に関する調査
	15歳未満でフッ化物応用の経験がある者	72.5%（R2参考値）	90%	県民歯科保健実態調査
	20歳以上における未処置歯を有する者の割合（年齢調整値）	25.6%（R2）	10%	県民歯科保健実態調査
	60歳以上における未処置の根面むし歯を有する者の割合（年齢調整値）	—	減少	県民歯科保健実態調査
	歯周病対策			
	中学生・高校生において、歯科受診が必要な歯肉所見がない者の割合	82.5%（R4参考値）	98%	神奈川県定期歯科検診結果に関する調査
	20～30代における歯肉に炎症所見を有する者の割合	52.8%（R2）	45%	県民歯科保健実態調査
	40歳以上における歯周炎を有する者の割合（年齢調整値）	67.8%（R2）	55%	県民歯科保健実態調査
	歯周病に関する事業を実施する市町村数（歯科検診を除く）	15市町村（R3参考値）	33市町村	健康増進課調べ
	歯の喪失の防止			
	40歳以上における自分の歯が19歯以下の者の割合（年齢調整値）	19.5%（R2）	15%	県民歯科保健実態調査
	80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合	53.4%（R2）	65%	県民歯科保健実態調査
第3.	口腔機能の獲得・維持・向上			
	口腔機能の育成に関する事業を実施する市町村数	27市町村（R3参考値）	33市町村	健康増進課調べ
	50歳以上における咀嚼良好者の割合（年齢調整値）	76.9%（R2）	90%	県民歯科保健実態調査
	オーラルフレイル健口推進員の養成数	1,556人（R4）	2,200人	健康増進課調べ
第4.	障がい児者及び要介護者の歯と口腔の健康づくりの推進			
	障がい児者が利用する施設での過去1年間の歯科検診実施率	77.5%（R2）	100%	健康増進課調べ
	要介護者が利用する施設での過去1年間の歯科検診実施率	89.4%（R2）	100%	健康増進課調べ
第5.	歯と口腔の健康づくりを推進するための社会環境の整備			
	歯科口腔保健に関する事業の効果検証を実施する市町村数	—	33市町村	健康増進課調べ
	過去1年間に歯科検診を受診した者の割合	57.0%（R2）	85%	県民歯科保健実態調査
	法令で定められている歯科検診を除く歯科検診を実施する市町村数	28市町村（R3参考値）	33市町村	健康増進課調べ

**説明は以上です。**